

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	小金井市本町 5-6-19 小金井市本町 5-6-19
園名	小金井市立小金井保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（園庭）

- ・子どもがやりたいことを自分で見つけて、主体的に遊べるような園庭を作りたい（一つの遊具で一つの遊びではなく、色々な物に見立てて遊べる材料があり、環境がある園庭づくり）

<テーマの設定理由>

- ・自然に触れて遊ぶことが好きで、乳児幼児かかわらず芝生の坂道がある公園や、山道のある公園に散歩へ行ったりすることで、子どもたちの興味関心が満たされるようにしていた。
- ・固定式遊具があることで制限されていた活動が、なくなることで広く庭を使用して、全身を使った遊びを構築していきたい。テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

2. 活動スケジュール

- ①R7 10/1 園庭計画打合せ→シャワー・水道等の位置の検討
- ②R8 1/22 園庭計画打合せ(物品購入含む)→＊砂場でのドロコ遊び計画＊黒土や周知等で使用するプロジェクター購入計画
- ③R8 3/12～園庭工事開始→重機が固定遊具を撤去。
- ⑤R8 3/16 4歳児(19名)
『庭のまん中に芝生の山ができるよ。どんな遊びがしてみたい？』
- ⑥築山設置工事。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・チビ庭(乳児園庭) から重機が働く様子の見学。
- ・庭の遊具が外されていく様子、築山の工事の様子をリアルタイムで見学できるようにした。(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①②③・・・昨年度から職員がクラスや部署ごとに話し合ってきた内容を実現するための打合せを持った。担当課や工事施工業者の方との打合せを通し、実際にイメージを図にして職員全体へ周知するなどをした。
- ④工事が始まると、重機が活躍する様子に喜んで、楽しみながら見学する姿が多くみられた。
- ⑤実際に固定遊具がなくなり、広くなった庭。次にどうなるのか、子ども達ともイメージを共有しつつ、どんな遊びがしたいのかという話合いの時間を持った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

工事が進み、固定遊具が撤去された庭。次にどんな姿になるのかを大人から聞いた 4 歳クラスの子ども達。

大「庭にあった物でなくなった物って、何かわかる？」

子「ブランコ!」「すべり台」「ジャングルジム」・・・。

大「今度広くなったお庭の真ん中に、山の上にも上れる、大きい山ができるよ。ちょっとチクチクする草が植えられて、元気に育つまでは入れないんだけど。みんながさくらさん(年長さん)になって、5月・6月には登って遊べるようになるよ。」

子「わぁ!富士山みたいの?」「へえ〜!」

大「みんなはどんなことして、山で遊んでみたいと思う?」

こうしたやり取りを通して、「大縄〜」「サッカー」「シーソー」「ドロケイ」といった、今までの定番や、公園のイメージのような遊びが上がったが、「すべり台!」という声が上がってから、みんなのイメージもしっかりとしたものになってきて、「つるつる滑られるようにしたらいい!」「雪が降ったら、ソリしたい!」「おしりですべるのがあったらいい」等、次々に発言する姿があった。



活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

工事があるよ、という話は聞いていても、実際に重機が入って外されていく様子に、興奮を見せていた子ども達。そこから一歩進んで、4歳クラスでは、大人から聞いた話からイメージを膨らませた。さらに今までの経験からうまれた発言からイメージが共有され、クラス全体に広がっていった。庭の完成を心待ちにする気持ちが、発言をした子も聞いていた子も、全ての子がキラキラとした表情で話合いに参加していたことから、とてもよく感じられた。